

キャリア教育の取組から
「ポスター発表の実践報告」

京都市立大宅中学校
平成22年7月23日(金)

「総合的な学習の時間」のテーマ設定

- 将来に対する希望が持てない。
- 家族の仕事や社会を見ている、生きがいがあるようなものが少ない。
- 進学についても、意欲を持った希望がすくない。
- 学習意欲が高まらない。



「仕事について」考える。

テーマ

「働きがい」ってどういうこと？

～「仕事」を科学的に考えてみよう～

1年生では

• 「職業講座」

いろいろな職業の方々から、仕事の内容を聞き、体験をさせた。

• 「ファイナンスパーク」

自分の将来・生活の計画を考える・生活費・家計などを学ばせた。



2年生では

• 「仕事について」～導入と意識づけ～

(3時間6月19・26日7月10日と夏休み)

1. 「生きがい」「働くこと」などの意識を調べる。
*親へのインタビュー、身近な人10人へのインタビュー

2. 「研究のために」 2年各教科担任より (9月7日～18日)

・教科の視点から「働きがい」に関する講義を開く

英語: 世界中で使われている日本人の考えた発明品

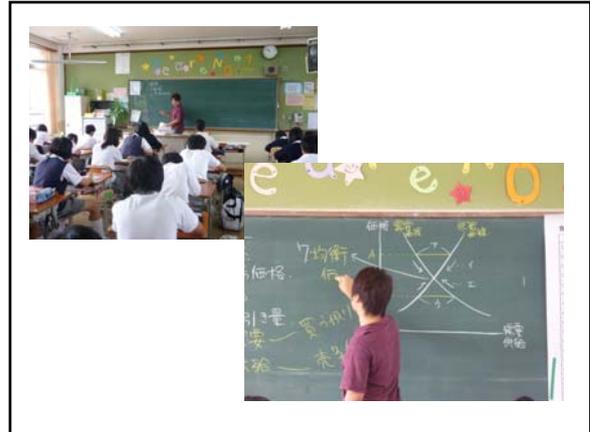
国語: 自伝から読み取る働きがい

社会: 価値ってなにか?

理科: モーターをつくる

数学: 統計について

保健: 事故防止について



「教員研修」 (8月24日)

1. 『早期工学人材育成事業(経済産業省型キャリア教育)』
(財)京都高度技術研究所(ASTEM) コーディネーター 石川 陽

- 早期工学人材育成事業の実施について
- 教科教育との関連、卒業論文への活用
- キャリア教育を推進するために

2. 『中学生の論文制作と周辺視座』
京都市教育委員会 学校指導課 村上幸一 首席指導主事

- 学習指導要領の変遷
- なぜ「論文」になったのか。
- 七条中学校 「あくあプロジェクト」をヒントに

「生き方探究チャレンジ体験」に向けて
(7時間 8月28日～10月30日)

★企業の講演 2時間 (9月25日)
「働きがい」を科学する ～安全工学の視点から～
JR西日本安全研究所 ヒューマンファクター研究室 副室長 飯田 昌幸

1. 鉄道事業の使命
2. 安全研究所の紹介
3. ヒューマンファクターとヒューマンエラー
4. 私たちの「からだ」のはたらき
5. 私たちの「こころ」のはたらき
6. 私たちの仕事と私たちをとりまくもの
～チームワークの重要性～
7. この仕事を選んだ理由、やりがい、働きがい
8. 理科・数学を学ぶわけ

「働きがい」を科学的に分析するために

- ・働く時間・時間帯
- ・人間関係
- ・からだへの影響
- ・世界とのつながり

など

分析テーマを設定
チャレンジ体験(職場体験活動)での
労働内容から仮説をたてさせる

「生きがいとしてのチャレンジ体験(職場体験活動)」
(11月5・6・9・10・11日)

ミッションをもって臨む(テーマを設定)

- ・各事業所の環境問題への取組みを調べさせてくる
- ・各事業所で使われる外国語、外国製品を国別にまとめ、など

★新型インフルエンザで中止★
 選択した仕事やテーマ設定をもとに、生徒各自で、
 インタビュー・インターネット・書籍などで情報を集める。

ポスター発表に向けて

「研修」
教員

「ポスター発表の教育効果について」

堀川高等学校 研究開発部(8月25日)

- ・探究基礎全体について
- ・中間報告でポスターをやることの意義について
- ・ポスター発表の方法とその準備について

生徒

代表生徒3名でポスター発表を先行して取り組む

- ・堀川高校 探究基礎研究発表会 を見学 (9月19日)
- ・京都小・中・高等学校研究発表会に参加 (10月10日)
- ・学年集会での発表 (11月)

ポスター発表学年代表



・「発表にむけて論文を書く」(12時間 11月20日から1月22日)

ミッションで調べてきたこと。

職業・産業技術がどう現在進んでいるか。

教科と関連してくるかをまとめさせる。

働きがいをもとめさせる。

★大学の先生による講義 2時間 (11月18日)

「研究とは何か？」

京都大学総合博物館 塩瀬隆之 准教授

- ・仮説の立て方
- ・視点の変え方
- ・「大学」の紹介



「職場訪問」

(12月16日～22日)

★チャレンジ中止の為、職場訪問を実施

- ・職場体験で行いたかったことや
インタビューしたかったことなどを訪問し、
体験もまじえてもらいながら、調査を行った。

「職場体験」 JR京都駅

(1月18日)

★チャレンジ中止の為、職場体験を実施

- ・きっぷの発券体験、車椅子介助体験、
JR社員さんとのディスカッション
- ・鉄道案内所、忘れ物センター、
構内・車内清掃体験、荷物預かり所
- ・助役さんからの講義

JR京都駅での職場体験



• 「小論文」作成

- ・論文の書き方を指導
- ・冬休みの宿題で下書き
- ・清書をさせる
- ・小論文集を作成

論文の作成が、ポスター発表に向けても、各生徒のテーマの整理がしっかりできた。

「ポスター発表」

(2月5日(金)5・6時間目)

- ・発表原稿の作成
(論文をもとに原稿がまとめることができた)
- ・ポスターの作成
(A4のコピー紙に手書きで書かせた。
掲示のために模造紙に張って整理する。)
- ・教室・多目的ホールを使い、時間を2分割して発表会を実施

対象を中学1年生や小学5年生にも広げる。 *調整できなかった。
*小学5年生でスチューデントシティ学習があるので、中学の様子を知ることも含め参加させるつもりであった。

ポスター発表会





ポスター発表で培われる力

- 課題設定
- 課題解決能力
- 言語活用能力

}

小論文を書くこと
によって、より整理
することができた。

- 質問力
- コミュニケーション能力
- 問いかける力
- 発表中の答える能力

「学びの道筋」

現在学んでいる教科から産業技術・社会に至るまでのつながりをわかり、例えば技術者になるために行っていくべき「学びの道筋」を自らが考え、積極的に人生設計できるようにしていく。

現在、中学3年生で修学旅行を東京方面にし、企業・事業所を訪問し、質問をしたことや体験したことをレポートにまとめ、自らの研究につなげていく。また、大学訪問もあわせて実施する中で、自らの「学びの道筋」の選択しにつなげられるようにした。

東京企業訪問先

新日本プロセス	慶応義塾大	東京アニメセンター	東京大
東京電力品川火力発電所		秋葉原電気商店街	
日本ユニセフ		アメ横商店街連合会	
ソニーコンピューター	青山学院大	築地市場	明治大
ホンダウエルカムプラザ青山		日本銀行	
日本ナレーション演技研究所		三省堂	
国際協力機構 (JICA)		NSC東京	
アムラックストヨタ	早稲田大	電通	
消防博物館		アサヒビール	
東京ドーム			

修学旅行での企業訪問



ご清聴ありがとうございました。

京都市立大宅中学校
森下 浩樹